

D 学校設定科目 SSH基礎（2年）

1 特別講演

1. 1 分子をつなげて価値を生む合成化学（化学分野）

(1) 研究開発の課題（概要）

大学の研究者に有機化学を学習し始めた生徒に対し、有機化学の有用性を実感できるような有機合成化学に関する講演を依頼した。

(2) 研究開発の経緯

有機化学の基礎を学習し始めた生徒への有機化学の導入として行った。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

最新の研究や有機化学の有用性について話を聞く事により、有機化学を学習する意義や動機付けとなり生徒の意欲が増すと考えた。

イ 研究の内容・方法

対象生徒 普通科2年理系生徒 5学級

実施場所 アイプラザ一宮

実施内容

講演

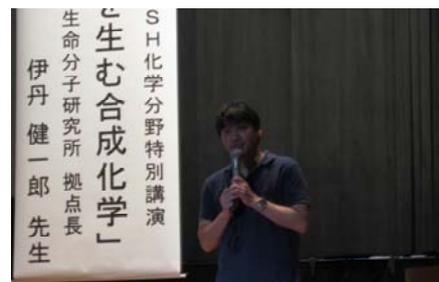
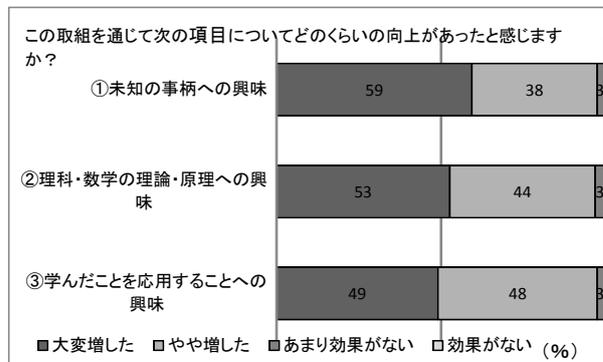
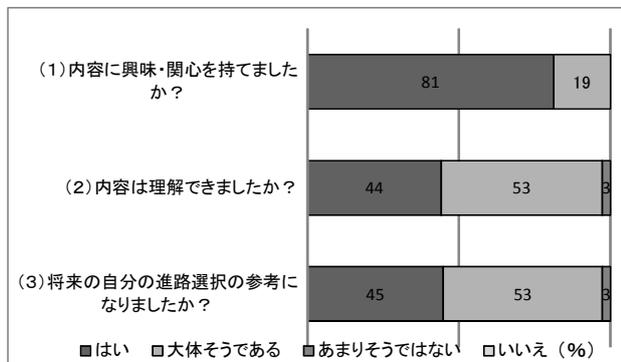
演題 「分子をつなげて価値を生む合成化学」

講師 名古屋大学 伊丹 健一郎 先生

内容 合成化学について

大学での研究について

(4) 検証（結果と反省）



講演中の伊丹先生

生徒の感想から

- ・今回の講義で化学についての興味が深まりました。研究の大変さの後の成功したときの喜びは素晴らしいものだと先生の話からすごく伝わってきました。
- ・最近化学は覚えることが多く大変だったけど、講義を受けて有機の授業が楽しになりました。また、"Work hard , play harder , dream even more" という言葉がとても印に残りました。

生徒の感想やアンケート結果からも講演を聴いて化学への興味・関心が深まったことがうかがえる。進路選択の上で参考になったと答える生徒も多く、化学を学習し始めた生徒にとって大変良い機会となった。